

提出日 平成 29 年 2 月 17 日
氏 名 富永 秀一

行政視察報告書

以下のとおり行政視察の報告を致します。

1. 所 属 議会運営委員会
2. 視察日・視察先 平成29年2月7日 愛知県安城市
3. 視察内容

「議会の ICT 化の取り組みについて」

■主な内容

□ICT 推進プロジェクトチーム立ち上げへ

- ・平成 22 年 7 月に行った市民アンケートで、市議会は市民に対して開かれていると思うかという問いに対し、開かれていると答えた市民はたった 15%で、議会の見える化が必要と認識した。
- ・議員の編集による議会だよりの発行、議会報告会の試行実施などを経て、平成 26 年 6 月、議会 ICT 化の議論が議会改革検討委員会で始まる。
- ・平成 27 年 5 月議員への連絡を FAX から電子メールに移行。
- ・平成 27 年 6 月議会 ICT 推進プロジェクトチーム立ち上げ。
- ・議会の足並みをそろえるため、各党派からプロジェクトチームにメンバーを出してもらい、メンバーがきめ細かく各議員に対応することで、全員がついて来られるように、そしてついて来るように努力した。



□議会 ICT 化の目的

議会運営の効率化、迅速化

- ・議員 1 人あたり年間 1 万枚にもものぼっていた紙の使用量を減らす。コピー、製本、差し替えなど事務局の作業の軽減、スピードアップ。

議会の見える化・魅せる化

- ・議会のライブ中継、SNS の活用など議会情報の積極的公開。市民との距離を縮める。
- ・分かりやすい議会運営、議会の魅せる化。
- ・大型スクリーン導入、説明資料、持ち込み資料の電子化。

危機管理体制の強化

- ・災害情報の共有化、情報伝達の迅速化。

議会の活性化・議員の資質向上

- ・情報伝達の迅速化、確実性の向上。

□議会 ICT 化の手順

- ①現状調査 ICT 化に対する各議員の意識調査。
- ②情報システム業者へのヒアリング
- ③執行部との意見交換、推進体制の検討
- ④システム構成、導入機器、費用の検討(グループウェア、ビューアー・会議システム、端末など)
- ⑤利用規約、費用負担などルール作成
- ⑥議員の操作、知識教育

□運用の実際

- ・グループウェアは「サイボウズ Office」国内シェア NO.1、試行導入していた会派も。
導入費用 28 万 5000 円。年 18 万 3000 円。
- ・会議システムは「SideBooks」機能、操作性、セキュリティ、保守サポートなど MoreNote と比較検討の結果。
導入費用 17 万 3000 円。年 38 万 9000 円。
- ・端末は「12.9 インチ iPad Pro」操作性、視認性から議会としては全国で初めて導入。A4 資料がそのままのイメージで参照できる。2つのアプリを画面分割で立ち上げられる。操作教育しやすいため全員統一して導入。
- ・端末の費用は月々公費 2500 円、政務活動費 2000 円。年 178 万円。
- ・買い取りだと市の資産となり庁舎外に持ち出せないためレンタルに。故障・修理は無償対応。紛失も年 2 回まで無償対応。
- ・タブレットを外でも積極的に使うようにした。ただし、私用は禁止にした。
- ・ソフトウェアのインストールは各自の判断。
- ・議会中に録音、録画、音を出す、外部とのやり取りは禁止。
- ・使い方について市民から問い合わせがあった場合、市民への説明は自己責任。
- ・平成 28 年 2 月全議員協議会でペーパーレス会議を試行。運用開始。
- ・当初 1 年間は紙と電子の併用としていたが、3 月定例会後、議案書などの紙は不要との声が上がった。
- ・5 月臨時会は希望者を募り紙を配布。(9 人)
- ・6 月議会から紙は各会派に原則 1 部ずつ配布。議場では全議員タブレットの活用で一致。
- ・タブレット端末操作の研修会を計 9 回実施。
- ・12 月議会では紙の配布数 89.7%減。

□今後の課題

- ・手書き入力 of 改善。遅い。
- ・編集画面と閲覧画面の切り替え速度の改善。
- ・予算書、決算書の取扱い。
- ・改選後の端末、データの取扱い。

■視察の成果

議会 IT 化作業部会を設置し、検討を進め、議場等への情報端末の持ち込みを試行している我々にとって、タイムリーな視察だった。

作業部会や我が会派では無料のサイボウズ Live を使用しているが、サイボウズ Office だと、通知が確実に届いたか、資料を誰が見ていないかなどが確認できるのは良いと思った。

会議システムは、日進市との合同研修会で MoreNote を試用でき、今回 SideBooks に触れられたので、違いも見られて良かった。

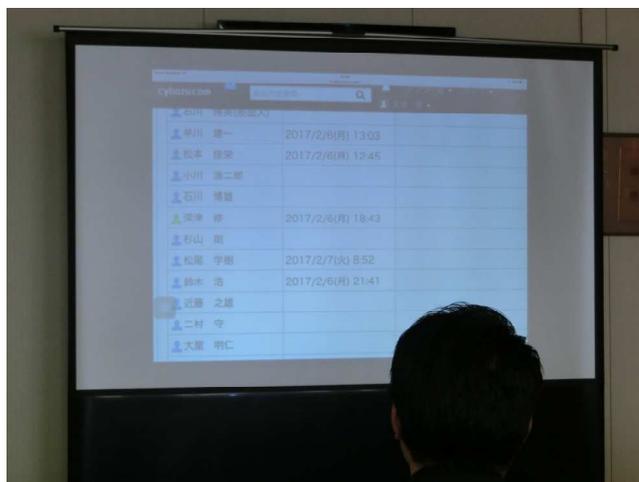
グループウェアについては、現在郵送で行われている事務局からの通知をどうするかという件もあるので、何らかのシステムを導入する可能性が高いと思うが、会議システムについては、ペーパーレス化を一気に進めやすいメリットがあるが、システムが不具合を起こすと会議が止まるリスク、費用が高めという課題もあるので、しっかりデモンストレーションなどで体感した上で、導入するかどうかも含めて検討する必要があると思う。

端末については確かに 12.9 インチの画面は見やすいと思った。2 画面にできることも良いと思った。ただし、かな入力が本体ではできないなど、日本語入力には苦労しそうなので、おそらく導入することになっても、iPad は閲覧用にして、メモの入力や検索等は自前のノートパソコンで行うのではないかと思った。

全員で統一した端末を導入するかどうか、メリットとコストなどをしっかり検討して決める必要があると思った。

今後の議会 IT 化の検討において、今回の視察で知ったこと、体感したことを十分活かしていきたい。

以 上



各議員が閲覧した日時などがわかる
グループウェアの画面